



頑張る仲間を応援！

走った！跳んだ！投げた！陸上記録会



6月7日（水），富士北麓競技場で陸上記録会が行われました。前日には雨が降りましたが，当日は梅雨入り前日の晴天。天気も子どもたちの頑張る姿にエールを送ってくれたようです。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へ移行後，初めての陸上記録会。大声を出し過ぎないという条件の下，仲間を応援する声が

戻ってきました。頑張る子どもたちの姿を一目見て応援しようと，たくさんの保護者の方も会場に足を運んでくださっていたようです。仲間や先生，保護者の方の声援を受け，出場した子どもたちは公式記録もとれる本格的な競技場で頑張りました。力を出し切る子どもたち，頑張る仲間を応援する子どもたちの姿はとても生き生きとしていました。

本番に向けて頑張って練習してきたことを1つの良い経験とし，自信につなげて行ってほしいです。そして，自分たちを応援し，支えてくださった方への感謝の気持ちを忘れずに，これからの学校生活でもリーダーとして各々活躍することを期待しています。





町内と鳴沢村全ての小学校で 「水の学習出前授業」が行われました



日常生活にとって必要不可欠な水。水道の蛇口をひねると当たり前のように出てきますが、この水はどこで作られているのでしょうか。そして、使った水はどこへ流れていくのでしょうか。小学校4年生の社会科で、この「水」についての学習があります。5月から6月にかけて、管路管理総合研究所が各学校へ出向き、上水道と下水道について出前授業を行いました。



下水道は、きれいな町・水環境を守るために必要な設備です。しかし、地中深くにあり普段目にすることがないため、あまり意識されません。出前授業では、そのような下水道に焦点を当て、実際の映像を見ながら下水道の役割について詳しい話がありました。そして、下水道が壊れないように活躍しているロボットがあること、下水道の入り口であるマンホールには地域特有のデザインがあることなど、普段なかなか聞くことのできない話題も教えていただきました。



その後、同じような紙でもティッシュは流してはダメでトイレットペーパーは流して OK の理由を、実験で確かめました。子どもたちは、ティッシュはほぐれず絡まること、トイレットペーパーはほぐれやすいことを体験し学ぶことができました。

授業後には、いくつかのクラスの子から「流せるティッシュは流してもいいのですか？」という質問が挙がっていました。講師の先生はこの質問も想定されていたようで、実験結果を映像で見せてくださりました。そして、「流しても良いけれど、トイレットペーパーよりはほぐれるのに時間がかかるため、大量に流さないようにしてください。」と質問に答えられました。

授業を受けた子どもたちからは、「下水道のことを知ることができてとても良かったです。」などの感想が挙がっていました。下水道が自分たちの生活にとって、とても重要な役割を果たしていることをしっかり学んだ1時間となりました。

